

太陽光パネルが屋根一面に張られたモデルハウス「樓香」(エコワークス提供)



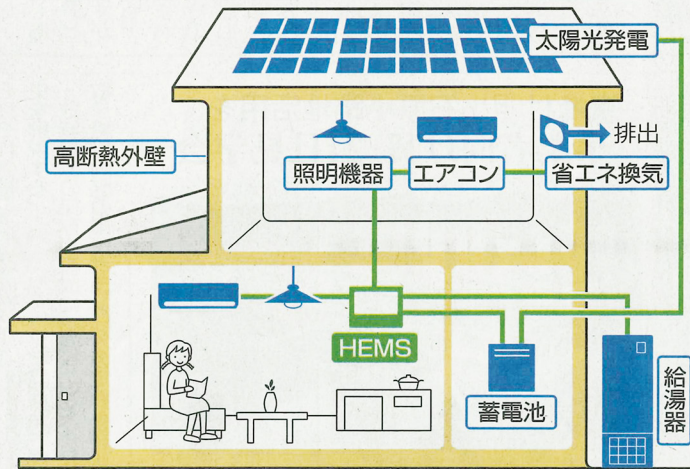
お目当てのモデルハウスは市内の住宅街の一角にあった。2004年の創業以来、省エネ住宅の建設に取り組み「エコワークス」(福岡市博多区)が手掛けた住宅だ。名称は「樓香」で、地上から見ると洋風の階建ての一般住宅だが、屋根にはびっしりと太陽光パネルが並ぶ。中に入る外見は一般住宅と変わらない

「ZEH(ゼッチ)」という言葉をご存じだろうか。太陽光などの再生可能エネルギーで得た電力を効率的に使い、年間のエネルギー収支「ゼロ以下」を目指した住宅だ。夏は涼しく、冬は暖かい快適な住環境も実現している。次世代型の住宅を体感するため、福岡県春日市にできたモデルハウスを訪ねた。(北島剛)

エネルギーは太陽光発電から

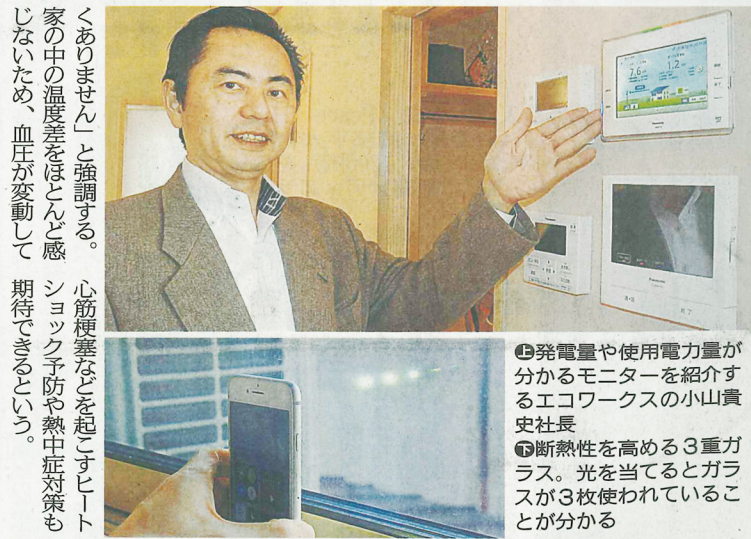
福岡県春日市に「ZEH」モデルハウス 高断熱、高气密で快適「ゼロエネ」生活

ゼロエネルギーハウス(ZEH)のイメージ図



と、小山貴史社長が待っていた。樓香は、天井や外壁に性能に優れた断熱材を用い、窓は3重ガラス、サッシは樹脂と高气密性も高い。「高断熱」と「高气密」により室内の寒暖差を抑え、少ない電力でも快適性を維持できるようになっている。冷暖房の設置も理にかなっている。比重の違いにより暖気は上へ、冷気は下に向かう。その性質を利用し、1階に床下から吹き出る暖房、2階に冷房の装置も完備。この二つの冷暖房のみで快適性に課題はなく、小山社長も「この時期なら、家のどこにいても寒い

来月まで無料宿泊体験も



①発電量や使用電力量が分かるモニターを紹介するエコワークスの小山貴史社長
②断熱性を高める3重ガラス。光を当てるとガラスが3枚使われていることが分かる

加えて、電力消費の少ない発光ダイオード(LED)の照明や、消費電力量などをモニター画面に映し、家電を自動制御する家庭用エネルギー管理システム(HEMS)へムス)も駆使することで、より高い省エネ化も実現している。このモデルハウスで生み出される電力は太陽光発電のみ。備え付けの蓄電池とさまざまな省エネ工夫によって、

ZEH (ゼッチ) ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略称。快適な室内環境を維持しながら、年間のエネルギー消費量の収支をゼロ以下にすることを目指した住宅。外壁や天井などの高断熱化を行い、高効率な省エネルギー設備を備え、太陽光発電などでエネルギーを作ることが条件。住宅メーカーなどは登録を受ける必要がある。基準を満たした住宅は国の補助金(本年度最大100万円)の支給対象となる。ただし、本年度分は予算の上限額に達したため支給は既に終了している。

環境省はZEHの良さを実感してもらうため、2月末まで無料の宿泊体験事業を全国13カ所で開催している。九州では樓香が宿泊先となっている。問い合わせはエコワークス 092(404)9200。

一般の太陽光パネル付き住宅よりエネルギー収支をゼロ以下にできる。地球温暖化対策として、ZEHを推進する国は「来年度までにハウスメーカーなどが新築する注文一戸建て住宅の過半数をZEHにする」という目標を掲げる。17年度に新築された注文一戸建て住宅約30万戸のうち、ZEHは約4万3千戸。小山社長は目標達成は難しいかもしれないが、着実に普及している」と話す。気になるのは費用だ。小山社長は「自らが建設する住宅は、一般の注文住宅よりも200万円ほど割高になる。ただ、長期的に考えるとメリットは大きい」と話す。国の補助金制度も受けられるとあって、同社のZEH販売数は年間約70棟と増えている。小山社長は一般社団法人「ZEH推進協議会」の代表理事を務める。「もっと普及するにはZEHへの消費者の認知とメーカーの提案力が重要。メリットが十分伝わるように情報を発信していきたい」と語った。